

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 小平市の農業を支えるために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市は住宅と農地が近接しており、さらに軒先販売などで新鮮な農産物を買うことができるなど、都市農業が市の大きな魅力の一つになっています。市内の若者に聞いても、小平市の農業、農地があることをとても良いとの答えがほとんどです。学校給食に小平産農産物を積極的に利用することやマルシェの開催など、生産者にも市民にも有効な優れた取り組みを行っていますが、生産緑地の減少や後継者不足など、心配な点も残ります。

農業者にとっても市民にとっても大切な小平市の農業を支えるために以下質問します。

- 1, 市内生産緑地の買取り申し出、特定生産緑地への移行の状況をお示ください。
- 2, 農地などにかかる税制上の優遇など、今後小平市で農業を継続するためにどのような税制上の支援が必要だとお考えですか。
- 3, 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律(みどりの食料システム法)推進のために、どのような取り組みを行いますか。
- 4, 消費者である市民に小平産農産物の優位性を広く知らせ、購入を促進することが大切です。市報への掲載やラッピングバスの運行、マルシェの開催などのこれまでの取り組みの成果と課題、今後の取り組みについてお示ください。
- 5, 市民が農業を体験するために、体験農園や市民菜園の取組みは大変有効と考えます。現在市では市民菜園の閉鎖が相次いでいますが、今後の取組みについてお示ください。
- 6, 市内農業の発展のためには後継者や新規就農者の参入が欠かせません。生産緑地の貸借が可能になったことから、農地と意欲のある農業者や就農希望者のマッチングの仕組みが必要です。現状と課題についてお示ください。
- 7, 子どもたちは学校給食や学童農園などを通じて農業の大切さについて学びます。これまでの取り組みの成果と課題をお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 5 年 2 月 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

25	24	23	22

—(/)